

## 平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社中央経済社

コード番号 9476 URL <http://www.chuokeizai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 津原 均

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,617	18.4	50	135.8	63	77.9	35	31.7
25年9月期第2四半期	1,366	△2.9	21	△62.9	35	△50.0	26	△19.9

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 41百万円 (3.6%) 25年9月期第2四半期 39百万円 (13.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	9.41	—
25年9月期第2四半期	7.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	4,935	3,822	77.4
25年9月期	4,994	3,818	76.4

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 3,820百万円 25年9月期 3,816百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,194	18.0	64	48.8	109	58.0	73	43.1	19.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	4,398,464 株	25年9月期	4,398,464 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	667,802 株	25年9月期	667,758 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	3,730,693 株	25年9月期2Q	3,730,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金用品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(5) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、ウクライナ問題の処理に関するEU情勢の混乱や東南アジア諸国の経済減速などの下振れリスクの不透明要因はあるものの、消費税増税前の駆け込み需要による消費の上向きにより、一時的に景気回復の傾向が見られるようになりました。

このような状況の中、当社グループは、前期に引き続き新しい顧客の開拓、顧客ニーズの追求、返品対策をテーマに掲げて活動いたしました。その結果、昨年9月に買収した㈱シーオーツの出版活動が順調に推移しているものの、出版事業の大部分を占める㈱中央経済社の出版活動は、大きな制度改正もなく、売上・利益の回復には至っておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,617百万円（前年同四半期比18.4%増）、営業利益は50百万円（前年同四半期比135.8%増）、経常利益は63百万円（前年同四半期比77.9%増）、四半期純利益は35百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

#### （出版事業）

㈱シーオーツの売上が加算された影響により、売上は増加いたしました。㈱中央経済社では、大きな制度改正がない中、前期に引き続き、顧客ニーズに沿った企画の開発、レイアウトの工夫、返品減少のための発売時期や配本数の見直しなど積極的に取り組んできました。その結果、出版点数は前年同四半期を若干下回りましたが、返品率が減少したことと、㈱シーオーツの利益が加算されたことにより営業利益は前年同四半期を上回りました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,548百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益30百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

#### （出版付帯事業）

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理等ですが、紙媒体への広告が減少する中、依然として有効な手段が見出せない状況が続いております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は69百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は12百万円（前年同四半期比29.8%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は4,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が64百万円増加したものの、現金及び預金の減少116百万円及びのれんの減少9百万円等によるものです。

##### （負債）

負債は1,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が14百万円増加したものの、その他のうち未払金が74百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は3,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が2百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が6百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は48百万円（前年同期比38百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益63百万円があったものの、売上債権の増加額64百万円、その他のうち未払金の減少額74百万円及び法人税等の支払額17百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3百万円（前年同期比58百万円減）となりました。これは主に、定期預金の減少25百万円があったものの、無形固定資産の取得による支出8百万円及び投資有価証券の取得による支出14百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は39百万円（前年同期比2百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払額37百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に、現時点で変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,488,770	1,372,130
金銭の信託	699,554	699,667
受取手形及び売掛金	901,566	965,764
有価証券	123,587	130,176
商品及び製品	429,373	447,289
仕掛品	68,505	60,889
原材料及び貯蔵品	8,155	8,711
その他	139,908	135,761
貸倒引当金	△1,440	△1,399
流動資産合計	3,857,981	3,818,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,721	58,646
土地	523,481	523,481
その他（純額）	11,463	11,705
有形固定資産合計	595,666	593,834
無形固定資産		
のれん	97,508	87,757
その他	86,419	87,305
無形固定資産合計	183,927	175,063
投資その他の資産		
投資有価証券	151,157	169,061
繰延税金資産	96,377	92,525
事業保険積立金	40,697	42,617
その他	69,494	44,425
貸倒引当金	△1,202	△599
投資その他の資産合計	356,523	348,029
固定資産合計	1,136,118	1,116,926
資産合計	4,994,100	4,935,918

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,163	516,930
短期借入金	2,740	—
未払法人税等	19,092	16,970
返品調整引当金	69,103	65,416
賞与引当金	49,820	47,807
その他	258,133	184,988
流動負債合計	901,052	832,111
固定負債		
退職給付引当金	259,360	266,237
その他	14,850	14,850
固定負債合計	274,210	281,087
負債合計	1,175,262	1,113,199
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,512,470	3,510,262
自己株式	△299,661	△299,677
株主資本合計	3,799,793	3,797,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,037	23,102
その他の包括利益累計額合計	17,037	23,102
少数株主持分	2,006	2,047
純資産合計	3,818,837	3,822,719
負債純資産合計	4,994,100	4,935,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,366,836	1,617,772
売上原価	885,646	1,059,860
売上総利益	481,190	557,911
返品調整引当金戻入額	—	3,687
返品調整引当金繰入額	695	—
差引売上総利益	480,495	561,598
販売費及び一般管理費	458,942	510,777
営業利益	21,552	50,821
営業外収益		
受取利息	1,794	1,749
受取配当金	1,124	1,100
受取地代家賃	5,798	6,044
投資有価証券評価損戻入益	2,494	65
業務受託料	—	1,619
その他	3,029	2,228
営業外収益合計	14,241	12,807
営業外費用		
支払利息	—	0
その他	31	0
営業外費用合計	31	0
経常利益	35,762	63,628
特別利益		
投資有価証券売却益	114	—
特別利益合計	114	—
特別損失		
固定資産除却損	—	29
特別損失合計	—	29
税金等調整前四半期純利益	35,876	63,599
法人税、住民税及び事業税	14,499	15,763
法人税等調整額	△5,358	12,695
法人税等合計	9,140	28,459
少数株主損益調整前四半期純利益	26,735	35,139
少数株主利益	83	40
四半期純利益	26,652	35,098

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,735	35,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,056	6,065
その他の包括利益合計	13,056	6,065
四半期包括利益	39,792	41,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,709	41,164
少数株主に係る四半期包括利益	83	40

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	35,876	63,599
減価償却費	6,551	12,054
のれん償却額	—	9,750
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△695	△644
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,739	△2,013
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,246	6,876
返品調整引当金の増減額（△は減少）	695	△3,687
投資有価証券評価損益（△は益）	△2,494	△65
受取利息及び受取配当金	△2,918	△2,849
支払利息	—	0
売上債権の増減額（△は増加）	△34,695	△64,197
たな卸資産の増減額（△は増加）	△10,577	△10,855
仕入債務の増減額（△は減少）	△39,168	14,766
未払消費税等の増減額（△は減少）	9,509	4,034
破産更生債権等の増減額（△は増加）	726	581
その他	△10,635	△68,134
小計	△40,317	△40,783
利息及び配当金の受取額	3,083	2,489
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△1,682	△17,834
法人税等の還付額	29,576	8,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,340	△48,106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額（△は増加）	25,200	25,200
有形固定資産の取得による支出	△50,293	△2,565
無形固定資産の取得による支出	△1,527	△8,571
投資有価証券の取得による支出	△10,018	△14,946
投資有価証券の売却による収入	892	—
保険積立金の積立による支出	△1,920	△1,920
貸付けによる支出	△28,969	△27,900
貸付金の回収による収入	5,341	27,488
その他	20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,274	△3,215
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（△は減少）	—	△2,740
配当金の支払額	△37,123	△37,162
自己株式の取得による支出	△16	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,140	△39,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	82
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△107,755	△91,157
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,356	2,134,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,205,601	2,043,542

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

**【セグメント情報】**

当社グループは、当社及び子会社3社で構成され、主に企業経営全般及びその他分野に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社の発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見ると一体のものであるといえます。したがって、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

（5）重要な後発事象

該当事項はありません。